

第52回八都県市首脳会議の結果概要

平成19年11月12日

八都県市首脳会議

1 主な決定事項等

(1) 各委員会等における検討状況の報告について

各委員会等の報告については、下記2の「各委員会等からの報告の概要」のとおり報告され、決定した。

(2) 地方分権改革の推進に向けた取組について

ア 今後の地方分権改革が、地方の自主性・自立性を高める真の地方分権改革となるよう、八都県市としての意見を取りまとめ、別紙1のとおり、意見表明を行うこととした。

イ 地域間の財政力格差是正に関する現在の国の議論に対して、都市部の自治体においても大変厳しい財政状況にあり、「都市対地方」の構図の中で財源の調整を図ることは不適切であるとの見地から、八都県市としての意見を取りまとめ、別紙2のとおり、意見表明を行うこととした。

ウ 首長の在任期間について、地方の自主性・自立性を高めるとともに、地方政治改革を推進するため、八都県市としての意見を取りまとめ、別紙3のとおり、意見表明を行うこととした。

(3) 粗暴性・残虐性を有する家庭用ゲームソフトから青少年を守るための取組について

粗暴性・残虐性を有する家庭用ゲームソフトから青少年を守るための取組について意見交換を行い、「八都県市 青少年を守るためのゲームソフトに関する協議会（仮称）」を創設するとともに、国や業界関係団体等に対し別紙4により参加を広く呼びかけていくこととした。併せて、協議会の構成及び運営等の詳細については、八都県市青少年行政主管課長会議で検討を行うこととした。

(4) エネルギー供給地域かつ大消費地域である首都圏から発信する再生可能エネルギーの拡大について

再生可能エネルギーの拡大について意見交換を行い、エネルギー供給地域を抱え、かつ、エネルギー大量消費地でもある八都県市として積極的に取り組む必要があるため、国への要望について検討を行うとともに、再生可能エネルギー拡大を含めた地球温暖化防止対策等の発信について、洞爺湖サミットに向けて首都圏連合フォーラムを開催し環境をテーマとして行うこととした。